



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754  
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第360号

2018年4月9日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 就学援助助成制度の申請に改善の余地が

4月になり中学校や小学校の入学式が行われ、子どもたちを送り出す保護者も、学校からのお手紙に目を通すのが大変な毎日です。

そんな保護者の方々から就学援助助成制度について、喜びとともに懸念の声が上がっています。就学援助助成制度の入学準備金が入学前に支給されることや金額が約2倍になったことは大変喜んでいきます。

全国でもまだ半数近くの自治体で実施されていないなか、八千代市では今年から実施できたことは評価できます。懸念されているのは、申請書をもらうのに新担任へ連絡し、子どもを通じてもらってこなければならないことです。



## 日本共産党と市民団体の強い要求

市はこれまでの日本共産党の議会質問を受け、1年生と転入生にしか出していなかった通知を、全生徒・児童に学期ごとに出すことで周知を図ってきたこと、モデルケースを入れることで、対象となるご家庭がわかりやすくなるなど行ってきました。

新日本婦人の会八千代支部からの請願として出されていた「入学準備金の前倒しと支給額の増額」が実現となりました。

しかし、八千代市は就学援助助成制度を利用している割合は、4.7%で、流山市8.5%、佐倉市7.1%、習志野市6.9%など近隣市に比べて低いままです。いまだに「申請しにくい」「すぐに申請書がもらえない」との声があります。この現状が他市に比べて利用割合の低さとなっているようです。

## 申請書も一緒に配布することで増加に

他市の取り組みの中で「就学援助助成制度のお知らせ」とともに「申請書」が一緒に配布されている事例がありました。はじめから「誰でも申請できる」「一定以上の収入がある人だけが却下される」という状態であるということです。この申請書も一緒に配布されることで、就学援助助成制度は特別な申請ではなく、子どもたちの目を気にしなくてもよい状況ができます。

こうした、すぐにでもできることを実施して、必要な家庭にすぐに利用へつなげることを求めます。